

# News Letter

Vol. 10

2024年12月 発行

島根大学

島根県立大学

松江工業高等専門学校

米子工業高等専門学校

## ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 総括シンポジウムを開催しました

令和6年9月6日(金)、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 総括シンポジウム」を開催しました。

2019年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)に採択された標記プログラムは最終年度を迎え、代表機関である本学と、連携機関である島根県立大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校が連携して各種の取組を進めてきた最終総括として、これまでの取組の有効性と持続性を高め、さらに広くダイバーシティの普及を図ることを目的として開催したものです。

まず本事業の責任者である島根大学 大谷 浩学長の挨拶に始まり、文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室 高見 暁子室長様と島根県初の女性副知事 石原 恵利子様から来賓のご挨拶をいただきました。

引き続き基調講演①として、これまでわが国の男女共同参画・ダイバーシティを牽引してこられた日本赤十字社常任理事 板東 久美子様から「地方大学におけるダイバーシティ推進」と題し、ダイバーシティ推進をめぐる状況や課題、地方大学の役割と今後の取組への期待について各種データを提示してお話いただきました。次に、基調講演②では、株式会社ベネッセホールディングス常任執行役員 成島 由美様から「社会で活躍する理系女子を増やすために～体験から「憧れ」をつくる学校、企業初の事例紹介～」と題して、企業における女性の活躍について、また昨今の教育・社会課題や入試環境の変化、さらに女子高生の進路選択の現状や理系女子はいつ生まれるのか等、教育機関にとって非常に興味深い内容の情報をご提供くださいました。

事業報告では、島根大学 河野 美江副学長がSAN'INダイバー

シティ推進ネットワーク全体と島根県立大学の事業報告を、ネットワークとNEXTA(次世代たたら協創センター)とのシナジー効果について島根大学NEXTAの平山 尚美准教授が行いました。また米子工業高等専門学校の宮田 仁志男女共同参画推進室長からは女子学生の入学比率を大きく増加させた独自の取組について、松江工業高等専門学校の高尾 学副校長からは女性教員の増加を図るアクションプランの策定と女性限定公募の積極的な実施、さらに教員職体験インターンシップ等について、それぞれ報告がありました。

さらに、全体を通して、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)プログラム主管 山村 康子様から講評をいただきました。

最後に本学 金山 富美内部統制担当理事が、SAN'INダイバーシティ推進ネットワークとともに持続可能な社会の実現に向けた取組をさらに推進していきたい、と閉会の挨拶をいたしました。

なお、今回のシンポジウムには対面で102名、オンラインで54名の方に参加いただきました。



## 2024年度女性研究リーダー育成支援事業（共同研究型）

連携機関間の共同研究を促進し、女性研究者の研究力の向上を支援するため、連携機関に所属する女性研究者が研究リーダーとなる連携機関間の共同研究に対し、研究費を助成しています。今年度採択されたのは下記研究課題です。

(◎：研究代表者)

### ●島根大学

#### 「若年女性アスリートにおけるアスリートの三徴（FAT）に関する競技別の特徴と指導方法の検討」

- ◎杉原 志伸〔松江保健管理センター（准教授）〕、  
河野 美江〔松江保健管理センター（教授）〕、  
小原 侑己〔松江工業高等専門学校人文科学科（助教）〕

#### 「超分子の創薬開発を指向した抗菌活性ジクマロールの分子構造に関する系統的調査」

- ◎王 傲寒〔総合理工学部（助教）〕、  
榎間 由幸〔米子工業高等専門学校総合工学科（教授）〕

#### 「コンピテンシー・ベースの教育をめぐる教員養成プログラムの実態調査」

- ◎香川奈緒美〔教育学部（准教授）〕、  
深見 俊崇〔教育学部（教授）〕、  
高橋 泰道〔島根県立大学人間文化学部（教授）〕

### ●米子工業高等専門学校

#### 「鳥取県南部町法勝寺における集落構造—水系—土地利用—居住空間の関係性に着目して—」

- ◎荒木菜見子〔総合工学科（講師）〕、  
細田 智久〔島根大学総合理工学部（教授）〕

## ◆女性研究者の声



総合理工学部有機材料化学研究室

助教 王傲寒先生

私は7年前に島根大学に採用されました。専門は高分子・超分子材料で、面白い性質をもつ新規機能性材料の開発を行っています。

ダイバーシティ推進室からは、女子中高生の実験教室をさせてもらったり、研究費をもらえたりするのは大変ありがたかったです。たとえ少額でも自分で使える予算があると、少しずつ装置を購入して、予算の使い方や工夫の仕方が身につくと思います。また「女性研究リーダー育成支援事業」で、米子高専の先生と共同研究を行っていますが、通常の研究費ではできない研究ができ、今後の研究の発展につながります。このように大学がサポートしようとしている姿勢をととても感じられます。

これらダイバーシティ推進室からの様々な支援のおかげで、研究が軌道に乗り始め、2021年度、2024年度と科研費の若手研究に2回採択されました。また、先日は現在指導している修士2年生の学生が激しい競争を勝ち抜いて令和7年度の学振DC1に採用内定されました。

このように自分の研究や指導が報われることは、本当にうれしいです。

地方大学にも優秀な学生がいっぱいいるので、学生がもっと自信をもてるよう一緒に研究成果を出して、「やればできるんだ」と後押ししたいです。

## 刊行物紹介

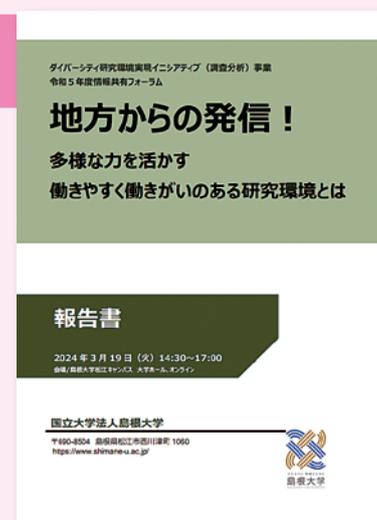
### 令和5年度情報共有フォーラム報告書

令和6年3月19日（火）に開催した、令和5年度情報共有フォーラム「地方からの発信！多様な力を活かす働きやすく働きがいのある研究環境とは」の報告書を作成いたしました。

SAN'INダイバーシティ推進ネットワークホームページ/刊行物・資料/データ資料・報告書に掲載していますのでご覧ください。

(掲載場所)

[https://diversity.shimane-u.ac.jp/\\_files/00347006/0319-1.pdf](https://diversity.shimane-u.ac.jp/_files/00347006/0319-1.pdf)



## しまね大交流会に参加しました

令和6年11月2日(土)に行われた「しまね大交流会」において、島根大学ダイバーシティ推進室では「女性研究者の裾野拡大 SUN'IN Girlsが進める理系進学」のブース発表を行いました。

当日はあいにくの天候の中、97名もの方がブースを訪れてくださり、理系の女子学生より、研究内容や大学での生活などについて発表した後、訪れた高校生、大学生と活発な質疑応答がありました。



## 女性研究者リーダー育成支援事業 (プロジェクト創出型)

女性研究者による新たな研究プロジェクトの立ち上げを支援し、学際力やプロジェクトマネジメント力を備えた女性研究者育成を目的にプロジェクト創出型支援を行っています。今年度は5件の女性研究者を支援しています。

- 「ラマン分光法による、尿素サイクル異常症肝臓細胞の薬剤への応答モニタリング」 石垣 美歌〔戦略的研究推進センター(助教)〕
- 「Developing a new type of recommendation system based on interdisciplinary research in the gaming area Extension (II)」 鄭 雲珊〔総合理工学部(助教)〕
- 「ため池の季節変動と長期的な劣化傾向を考慮した簡易管理手法の開発」 佐藤 真理〔生物資源科学部(助教)〕
- 「データの真正性を保証する電子透かしに関する研究」 黄 緒平〔総合理工学部(准教授)〕
- 「Cross-cultural evaluation of visual attractiveness of gathering spaces around campus」 Nguyen Tran Yen Khang〔総合理工学部(助教)〕

## 科研費獲得支援セミナー(第2弾)

### 「科研費の採択に向けて

#### — 情報分析と推敲支援のポイント —

【日 時】 令和6年6月28日(金) 15:00~16:00

【講 師】 塩満 典子 先生

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学

学長補佐・特任教授

学校法人中部大学 客員教授

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)

航空技術部門客員研究員

一般社団法人日本原子力学会 理事

【主 催】 島根大学オープン

イノベーション推進本部

【共 催】 島根大学ダイバーシティ推進室

【参加人数】 対面48名、

オンライン18名



## ワークライフバランスセミナー

### 「イキイキ個性の発揮が組織の成長へ

#### ～私らしいキャリア形成をめざして～

【日 時】 令和6年10月1日(火) 18:00~19:30

【講 師】 宮崎 結花 先生

株式会社Woman's 代表取締役

一般キャリアコンサルティング技能士

【主 催】 地域医療支援学講座内

「えんネット」

【共 催】 島根大学ダイバーシティ推進室、

島根大学医学部ワーク

ライフバランス支援室

【参加人数】 対面30名、

オンライン23名



## 研究サポーター制度

育児や介護などによって研究時間の確保が困難な研究者に対して、大学が任用した研究サポーターが研究の補助業務を行う、研究サポーター制度を実施しています。今年度は18名(男女不問)の教員が利用しています。

## 入試における託児サービス

令和6年11月9日(土)の総合型選抜I「へるん入試」等における託児サービスを計画し、教職員へ周知しました。



公立大学法人  
島根県立大学

### 看護管理コンソーシアムしまね「第9回カタリバ」

第9回カタリバを令和6年8月30日（金）に実施しました。看護管理者のネットワークづくりのため看護管理コンソーシアムしまねを設立し、看護管理者の学びと活力を得るために活動を支援しています。その事業の一つとして、「カタリバ」は島根県の看護管理者間の語りを促し、管理者としての自信と勇気の湧く場を目指した活動です。

今回のカタリバテーマは、「未来志向で育てる中堅看護師効果的な「目標管理面接」を行うために」でした。オンライン開催で、7施設48名の方にご参加いただきました。看護管理者の一人に中堅看護師のワークエンゲージメントに関する研究結果を話題提供いただいた後、グループに分かれて意見交換を行いました。カタリバを経て、未来志向で語れる目標管理面接について、「スタッフと共に未来どうなりたいかを考える場をつくりたい」「管理者自身がビジョンや目標を持っていること、夢や希望を持っていることも大切」「スタッフに関心を持ち、日頃からコミュニケーションを取り観察することで興味のあることを知る」「スタッフが安心して内省できるよう心理的安全性に配慮する」「日頃からスタッフへの承認を意識していく」などの意見が交わされました。



独立行政法人国立高等専門学校機構  
松江工業高等専門学校  
National Institute of Technology, Matsuue College

### 女性研究者・技術者講演会、研究写真展「女性研究者の目に映る美しい世界」を開催

令和6年8月2日（金）、3日（土）、オープンキャンパスに参加する女子中学生とその保護者を対象に女性研究者・技術者講演会を開催しました。この講演会は、女性研究者の裾野拡大のため、女子中学生とその保護者に対し、研究者や技術者の仕事内容、働き方及びキャリア形成などに関する理解促進を目的として開催したものです。



今回は、本校OGである4名の研究者・技術者のビデオ上映による講演会を実施しました。

また、同日、研究写真展「女性研究者の目に映る美しい世界」を開催しました。



独立行政法人 国立高等専門学校機構  
米子工業高等専門学校  
National Institute of Technology (KOSEN), Yamago College

### 女性研究者の研究力向上

令和6年7月19日（金）に「2024年度米子工業高等専門学校女性研究リーダー育成支援事業（共同研究型）」の学内公募を開始し、女性教員1名が採択されました。

### 学生の活躍

令和6年9月14日（土）に高専GCONカンファレンス2024（東京・お台場・テレコムセンター）に本校の2チームが招待枠で参加しました。高専GCONとは、高専GIRLS SDGs × Technology Contestの略で、SDGsを中心としたさまざまな社会課題の解決に向けた技術開発やアイデアを競い合うコンテストです。2～5名の女子学生中心のチームが参加します。カンファレンスには26チームが参加し、進捗内容を各チームがポスター形式で発表して意見交換しました。地域密着型や先端技術を活用したテーマ、女性技術者が活躍できる社会の実現を目指したテーマなど、多様なテーマが高いプレゼン能力で発表されました。高専GCON2024には85チームがエントリーし、審査の結果、本校から1チームが本戦に出場することになりました。高専GCON2024の本選は、12月14日、15日に開催予定です。



GCONカンファレンス2024の会場にて